

2013年
11月17日

No.177

さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

地域・職場・青年革新懇全国交流会 in 大阪

一致点に基づく多彩な取り組みを

16、17日、大阪市内において、「激突の情勢 政治を変える新しい共同を」をスローガンに、全国革新懇の地域・職場・青年革新懇全国交流会が開かれました。参加したのは過去最高の約1700人、会場は満席で壇上に席が設けられ、熱気に包まれました。さざなみネットから山崎書記長が参加しました。原発、憲法、環太平洋連携協定(TPP)、消費税などの各分野で、一致点に基づく多彩な共同の取り組みを交流しました。

1日目の堺市民会館での全体会。堺市の武山修身市長のメッセージに会場が沸きました。先の市長選で、橋下徹大阪市長が率いる「大阪維新の会」の候補とたたかい、広範な市民との共同で勝利した竹山氏。革新懇に対し、「思想信条、政治的立場を超えて希望ある日本を実現するべく活動なされていることに深く敬意を表します。今後の一層のご発展を」とエールを送りました。

「社会運動としては皆さん方が先輩」とあいさつしたのは毎週金曜日に官邸前で「原発ゼロ」の行動の行動を続ける首都圏反原発連合のミサオ・レッドウルフさん。「政策を転換させるまで声をあげ、子どもたちにまともな未来を残していきたい」と述べ、大きな拍手を受けました。



連帯の挨拶をするミサオ・レッドウルフさん

「激突の情勢、政治を変える新しい共同を」と題して、代表世話人で民主青年同盟の田中悠委員長から問題提起があり、職場革新懇の「運動の到達点と課題」を下記のように報告しました。

各地から「一点共闘」の取り組みが報告され、最後に、緊迫した国会の動きから、「希代の悪法、秘密保護法案を必ず廃案へ、ただちに行動をひろげよう」との特別決議を採択しました。

(特別決議裏面下)

職場革新懇運動の到達と課題 田中代表世話人からの問題提起

職場革新懇は、産業・職場によって、それぞれ多様な条件に置かれているが、困難な条件とともに新しい条件が生まれている。激しい人減らし・合理化、雇用の劣悪化によって、多くの職場では、労働者が孤立化し、悩んでいる。同時に、組合の特定政党支持押しつけが破たんし、労使協調・会社主義も深刻な矛盾にぶつかり、非正規雇用問題をはじめ賃上げと雇用の安定を求める新たなたたかいも生まれている。圧倒的な労働者が未組織のまま劣悪な労働条件に強いられている。情勢の激変を受け、職場の中で政治が語られている。

こうした職場革新懇は、政治と要求を結びつけ、多彩な活動を地道に続けている。組合の違いを超えて、また管理職も含め、輪を広げている。・・・

労働者の分野で革新多数派を結集することは、日本の社会を変革してゆくうえで決定的な課題である。



落ち葉と遊ぶ 岩波 美智子さん 画

●憲法9条守れ、消費税増税反対、原発ゼロ、TPP反対など「一点共闘」が各地で大きく広がっている様子が豊かに報告されました。「一点共闘」をやればやるほど、問題の本質が繋がっていることがよくわかります。多

くの労働者が劣悪な労働条件や不安定な雇用を強いられ、新しい条件が生まれています。労働分野でも、多数派が結集できるようにがんばりたい。



知る権利を奪い、監視社会をつくる特定秘密保護法案に反対しよう

「防衛」「外交」「特定有害活動の防止」「テロリズムの防止」の4分野について、国が一方向的に「特定秘密」に指定し、これを漏らしたり、漏らすことをそそのかしたりすると、懲役10年以下という厳罰を与える「特定秘密保護法案」が10月25日、国会に提出されました。

対象となる人は、秘密を取り扱う公務員だけではありません。出入り業者や大学などの研究者も対象になります。取材・報道も罪に問われます。

秘密を取り扱う人はプライバシーを調査されます。調査範囲は家族や友人にまで広がります。

1999年にできた情報公開法は、国に都合の悪い情報でも市民・国民に公開し、主権者である国民が政府を監視することを目指しています。特定秘密保護法はこれに逆行するものです。国民は目隠しをされて、「政府の言うことだけを信用しろ」ということになってしまいます。

戦前の日本では、軍機保護法や国防保安法によって真実が隠される中で、「大本営」が発表するウソの情報を信じ込まされ、侵略戦争に駆り出され、多くの人命が失われました。

「秘密は戦争の始まり」は歴史の教訓です。

かつての戦争で、日本国民は政府や軍部の都合の悪いことは全く知らされませんでした。戦場から帰って

きた家族から話を聞くことも、処罰の対象になりました。「見ざる、聞かざる、言わざる」の生活を強いられました。

「国民主権」と「民主主義」は、自由に情報を集め、考えたことを自由に表現することをお互いに認め合うことで成り立ちます。特定秘密保護法は、政府の情報を隠し、その取り扱い者や関係する人々を監視することで、市民・国民を統制・管理しようとするものです。日本を再び暗い戦争の時代にしないために、特定秘密保護法を許すわけにはいきません。

1985年の国家秘密法案の時は、反対の声が国民各層に大きく広がり、廃案に追い込みました。今回も、特定秘密保護法反対の運動を広げ、法案の成立を阻止しましょう。

緊迫する秘密保護法をめぐる情勢の中、各地で「何としても廃案に」と集会やデモが行われました。11月15日「憲法を守る滋賀共同センター」の呼びかけで、膳所駅前において、緊急宣伝・集会が行われ約50人が参加しました。さざなみネットの組合員も参加しました。集会の後、パルコ前「口耳目をふさぐ秘密保護法反対！」と力強くシュプレヒコールを上げ、デモ行進を行いました。

特別決議

希代の悪法、秘密保護法案を必ず廃案へ、ただちに行動をひろげよう

秘密保護法案をめぐる事態が緊迫している。秘密保護法案は、国民の目、耳、口をふさぎ、「戦争する国」にするための希代の悪法である。今国会での成立強行をねらう安倍内閣の暴挙をかならず阻止しよう。

いま、日本を暗黒社会にするな、とかつてない多くの人びとが声をあげている。反対する一点で共同をひろげ、手をつなぎ、急速に世論と運動を盛りあげよう。日本国民の良識を結集して、憲法を真っ向からじゅうりんする悪法を阻止したと歴史に刻もうではないか。

革新懇運動に結集するすべての組織、賛同団体、個人がただちに声をあげ、行動を強めることをよびかける。

全国の地域、職場で声をあげよう。一人ひとりが少しの勇気を出して隣の人に声をかけよう。署名をあつめよう。街頭に出よう。地元選出の国会議員に要請を集中しよう。

国会でのたたかいと結び、思想・信条の違いをこえて、ところある広範な人びとと力を合わせ、安倍内閣を大きく包囲し、秘密保護法案をかならず廃案においこもう。

右、表明する。

2013年11月16日

地域・職場・青年革新懇全国交流会 in大阪 参加者一同

